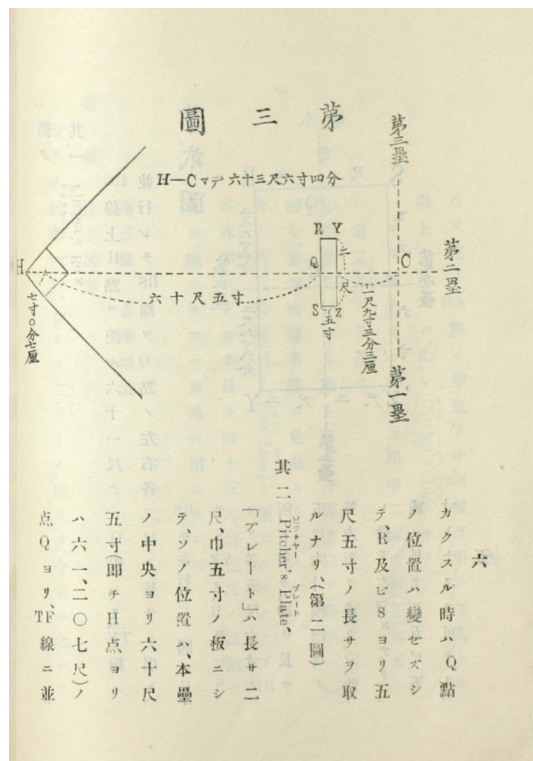
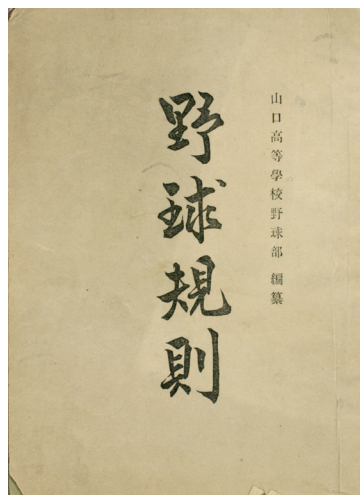


近代スポーツの導入（野球規則）



* 安部家文書1036「野球規則（明治32刊）」

解説

近代文化の課題は、西洋文明を取り入れつつ、いかに新しい日本文化を作り出していくかというところにありましたが、それはスポーツにおいてもあてはまります。明治期にさまざまな近代スポーツが日本に取り入れられ、広まっていきました。たとえば、現在、国民的スポーツとして人気の高い野球は、1871（明治4）年にアメリカから伝わり、主に学校での体育活動を通して広まっていきました。

山口県内で野球が盛んになったのは明治30年代といわれていますが、当初はルールがまちまちで混乱を生じていたようです。写真は、県内の野球ルールを統一するために、山口高等学校野球部が1899（明治32）年に定めた「野球規則」です。

球場の規定や用具、野球用語の解説、投球規則、打撃規則、審判のコールの仕方などについて図を用いながら解説しています。ほぼ現在のルールと同様ですが、中にはボールが草むらや溝に入って紛失した時の措置など、興味深いローカルなルールもあります。

このルールブックが配られたのは山口中学校（本校）、山口中学校萩分校、佐波郡周陽中学校、山口中学校徳山分校、山口中学校岩国分校、山口県師範学校、赤間関商業学校、広島県広島第壱中学校、山口中学校豊浦分校で、これらの学校で当時、野球が行われていたことがわかります。巻末に質問用紙が印刷されており、ルールについて不明な点を問い合わせることができるようになっていました。